

## 事前評価個表

事業名	森林居住環境整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度
事業実施地区名 （都道府県名）	十勝森林計画区 （とがち） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 十勝西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>十勝森林計画区は、北海道東部に所在する419,045haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件は奥地林・里山林と多様であるが、自然環境の維持・保全及び水源かん養、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能に応じた適切な施業管理を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容 路網整備 開設延長 1.0 (km)</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	25,327（千円）	
	総便益（B）	木材生産便益	30,595（千円）
		森林整備経費縮減等便益	24,554（千円）
	計	55,149（千円）	
	分析結果（B / C）	2.18	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林野の地域別森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な施業管理が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	森林居住環境整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度
事業実施地区名 （都道府県名）	中予山岳森林計画区 （ちゅうよさんがく） （愛媛県）	事業実施主体	四国森林管理局 愛媛森林管理署
事業の概要・目的	<p>中予山岳森林計画区は、愛媛県中央部に所在する13,036haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に配慮しつつ集落周辺国有林の適切な森林整備等を行うことにより、山村地域の居住環境の改善及び都市と山村との交流等の促進にも資することを目的とする。</p> <p>主な事業内容 森林整備 保育面積 427（ha）</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	87,331（千円）	
	総便益（B）	水源かん養便益	60,169（千円）
		山地保全便益	27,405（千円）
		環境保全便益	8,717（千円）
		木材生産便益	23,277（千円）
		計	119,568（千円）
	分析結果（B/C）	1.37	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>		